

# 多様な学びの場づくりを探る講座<パート2>

## —講座全体の流れ—

青森県総合社会教育センター指定管理者学び・生かすあおもりグループ

### 第1回 ▶ これからの「学校」をどうとらえるか

10/20(日)

学校以外の「多様な学びの場づくり」を探っていくためには、そもそも「学校」の現状がどうなっているのか、また、今後学校がどうなっていくべきなのかを考える必要があります。ゲストスピーカーとして、青森中央学院大学教授の成田昌造氏にお話をうかがいます。成田氏は、元県教委・学校教育課長、青森高校校長を務められ、「青森県不登校児童生徒支援に関する検討会議」の会長も務められています。まずは、成田氏から、不登校が増加している現状も踏まえ、変動する社会の中でこれからの学校をどうとらえていくべきかについてご提言をいただきます。その後、参加者の皆さんで、「学校の現状における問題点と課題」、「不登校やいじめ問題等に対応するため、こんな学校であってほしい」というテーマで話し合いをしていただきます。

### 第2回 ▶ 子どもの居場所づくりと学びの場の保障

10/27(日)

多様な学びの場づくりを探っていく上で、もう一つ大切なのは、教育と福祉との連携です。福祉分野では、子ども食堂をはじめとする、経済的に困難を抱える子どもたちの「居場所」づくりの事例が増えており、そのような場が「学びの場」として機能している例もあります。まず、青森県社会福祉協議会の葛西裕美さんから、県内の具体的な事例を含めて、福祉分野での取組の現状と課題についてお話をいただき、その後参加者の皆さんで、「居場所」と「学びの場」の関係等について、話し合いをしていただきます。

### 第3回 ▶ 「学び直しの場」の開設に向けて

11/10(日)

第3回では、不登校の子どもたちのみならず、様々な事情で学校に通えなかった方や日本に住む外国籍の方なども対象とした「学び直しの場（自主夜間中学）」の開設に向けて議論をしていただきたいと思います。札幌市で自主夜間中学「遠友塾」の代表を長く務められた遠藤知恵子氏から、義務教育機会の保障の観点からの「自主夜間中学」の必要性やその学びの様子についてお話しいたします。その後、参加者の皆さんから、「学び直しの場（自主夜間中学）」開設に向けた具体的なアイデアをいただければと思います。

## 学び直しの場（自主夜間中学）の開設